

農委広報やまがた

令和7年1月
(2025年)

第226号

山形市農業委員会

〒990-8540
山形市旅籠町二丁目3番25号
TEL 023-641-1212 (内線773)

穂豊帆 21

[hohoho 21]

山形市立第二小学校
田植え・稲刈り体験の様子



株式会社 フィールドシップ

地域の農地を守るため 旧市地区上町で
頑張っています！
みなさまの農地 次の世代につなぎます。

● 農業委員会の活動報告

- * 年頭のご挨拶 2 P
- * 山形市への農地利用最適化推進施策等に
関する意見書の提出について 2 P
- * 農地利用最適化推進に係る先進地研修報告 ... 3 P
- * 令和6年度食農交流事業 4～5 P
- * 山形県農業委員会大会 6 P

● お知らせ

- * 農地の貸借・売買の手続き方法が変わります ... 3 P
- * 農業者年金のお知らせ 6 P
- * 許可等日程のお知らせ 6 P

◆ 地域計画策定に向けた目標地図づくりにご協力ください

『皆で描く未来地図』～地域での話し合いに参加しましょう～

年頭のご挨拶



山形市農業委員会
会長 高橋 徳郎
たかはし とくお

新年明けましておめでとうございます。輝かしい令和7年の年頭にあたり、皆さま方のご健勝、ご多幸を心からお祝い申し上げます。

また、旧年中は農業委員会活動や地域農業の振興と発展のため、ご理解とご尽力を賜りましたことに敬意と感謝を申し上げます。

さて、昨年は農政の憲法と称される「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正されました。食料安全保障、農産物の適正価格形成、生産性と付加価値の向上、農村の振興等を重視しており、基本計画での運用を期待したいと思っております。

石破内閣が発足し、農業に力を注ぐと表明しておりますが、総選挙で与党が過半数割れという結果になり、野党との連携が重要となります。

今後は、水田活用の直接支払交付金や新たな直接支払制度の創設、「生産物の価格は市場で所得は政策で」という価格形成の概念に沿った議論により生産物が再生産可能な価格水準になるような政策を期待します。

農業の生産現場では、昨年の元日

に起きた能登半島地震を初め、7月25日に発生した線状降水帯による庄内地方や最上地方の大水害など全国各地で天災に見舞われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、早急な復旧復興を心より願っております。昨年は猛暑で、さくらんぼのうるみ果等が発生し収量が著しく低下しましたが、米については高温による品質の低下が懸念されるなか、価格が再生産可能な価格まで引き上げられた事は農家にとつては喜ばしい事でもありました。

今年も暑さが続くと思われ、猛暑に対応できる品種の選定や、栽培技術を駆使しながら生産活動を進めなければなりません。農家の皆様方の奮闘による出来秋の笑顔を期待申し上げたいと思います。

皆様と協議して参りました目標地図を含む地域計画が3月末日までに策定されます。今後は地域計画の実現に向けた取り組みを進めるために、今まで以上に地域の皆様との話し合いが大切になります。話し合いを持ち実行に移して参りましょう。

令和7年は「乙巳」です。「乙」は未だ発展途上の状態を、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味します。成長と結実の時期となる可能性が高い年だそうです。今年の農業が明るく希望に満ちたものとなりますようお祈り申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

山形市への農地利用最適化推進施策等に関する意見書の提出について

令和6年10月21日、高橋徳郎会長はじめ委員会の代表4名で佐藤孝弘市長へ意見書を手渡し、回答をいただきました。

意見書の内容は次の通りです。

(紙面の都合上要約します)

1 鳥獣被害対策について

(持続可能な農業の実現、安全な市民生活の確保)

(1) ドローン調査によって把握した生息地や餌場を解消する。

(2) 捕獲した有害鳥獣の処分について処理後も飼料や肥料への利用が可能な減容化施設の設置についての検討。

(3) アーバンベアに対する出没時の対応方法や安全対策などの知識の普及啓発、広域的な対応も含め緊急時に迅速かつ効果的な対応ができる体制の確立。

(4) ホンジカによる被害が確認され始めた。隣接市町をはじめ広域的な情報収集に努め、早期の対策を実施してほしい。

2 高温対策について

(食料の安定供給の確保や農業経営の維持を図るため)

(1) 高温対策用資材の導入による効果や活用方法について情報提供、支援事業の周知を図る。

(2) さくらんぼ高温被害緊急支援事業の実施と、ブドウ、野菜、花きなどの園芸作物についても支援対象に加え支援拡充の要望。

3 遊休農地の発生防止について

(1) 有効な発生防止策が無い場合、根本的な課題対策が難しい現状で、関係各課が一体となって意見交換する場を設け、検討する必要があるのではないかと。

4 新規就農者確保について

(人材獲得競争が激しくなるなか、新規就農者の支援を強化し、地域農業の持続的な発展を図るため)

(1) 現在検討している(仮称)さくらんぼトレーニングファームは、農業技術を習得するだけでなく、多様な農業従事者や地域住民とのつながりが生まれる。野菜等にも広げ、不安なく就農できるよう、地域の特性に応じた農業技術を習得できる場の提供。

(2) 地域に定着するためには、地域住民との交流イベントや情報交換会の開催を支援し、地域社会に溶け込む機会を増やすこと。

5 農業委員会の運営について

(1) 第5次男女共同参画基本計画における農業委員に占める女性の割合の成果目標20%に達しておらず、令和8年7月改選に向けて女性委員の登用促進の協議を連携して進めていきたい。

農業委員会では、毎年行われている地区別農政懇談会のご意見を集約して、関係機関との意見交換や要請を行っています。今後とも懇談会での多くのご意見をお願いします。

(農業委員 安達 良二)



農地利用最適化 推進に係る 先進地研修報告

令和6年11月20日から22日までの3日間の日程で、農業委員及び農地利用最適化推進委員16名が参加し3カ所の視察研修が実施されました。

初日は、豊田市御船町のT A I K E Iファームのいちご狩りを主とした観光農園「ストロベリーファームみふね」を訪問しました。母体の建設会社企業が農業参入の形で、稲作栽培に始まり試験導入したいいちご栽培の経験を積み、令和3年に遊休地等を利用して約80aのハウス団地を造成し、現在では安定した運営を行っており、年間来場者3.5万人、地域雇用、農業体験など社会貢献を果たしています。運営法やいちご栽培の技術体系も確立され、今後の6次産業の拡大等一層の地域貢献が期待されます。

2日目は、浜松市のユニバーサル農業について視察しました。現在、各地で取組んでいる農福連携の仕組みで、園芸作業を行うことによる生きがいづくりや高齢者、障がい者の社会参加の効用を農業経営の改善や担い手育成等に活かしていく取組みです。農業者、福祉関係者、学識経験者、行政機関等で構成される研究会を組織し、約20

年間普及発信等の活動が展開されています。加盟する農園では、多くの障がい者を雇用的確で具体的な作業の指示を行うことで、十分な作業効果が得られており、長年の雇用などで障がい者の活躍の場が広がっています。農福コーディネーターの配置や相談窓口の設置等は、山形市でも労働不足の解消に参考となる点も多いと思います。

最終日に、静岡県農業会議にて耕作放棄地診断システムの研修をしました。サグリ社が提供する「アクタバ」の利用により、衛星画像をAIで解析し、荒廃農地の可能性のある農地を絞り込みできるシステムをタブレットの電子地図上に表示し農地パトロール（耕作放棄地診断）を行う方式を実施しています。電子地図上に様々なデータが表示されることや耕作放棄地を絞り込めることで、現地確認に費やす時間労力的大幅削減ができること等の有利性が確認できました。山形市では、費用対効果など検討が必要だと感じました。

今回の研修では、今後拡大が見込める農福連携の取組みや耕作放棄地の診断システム導入による改善方法など参考にできる点が多く、これからの委員会活動で対応の在り方や内容の検討を考えていきたいと思います。

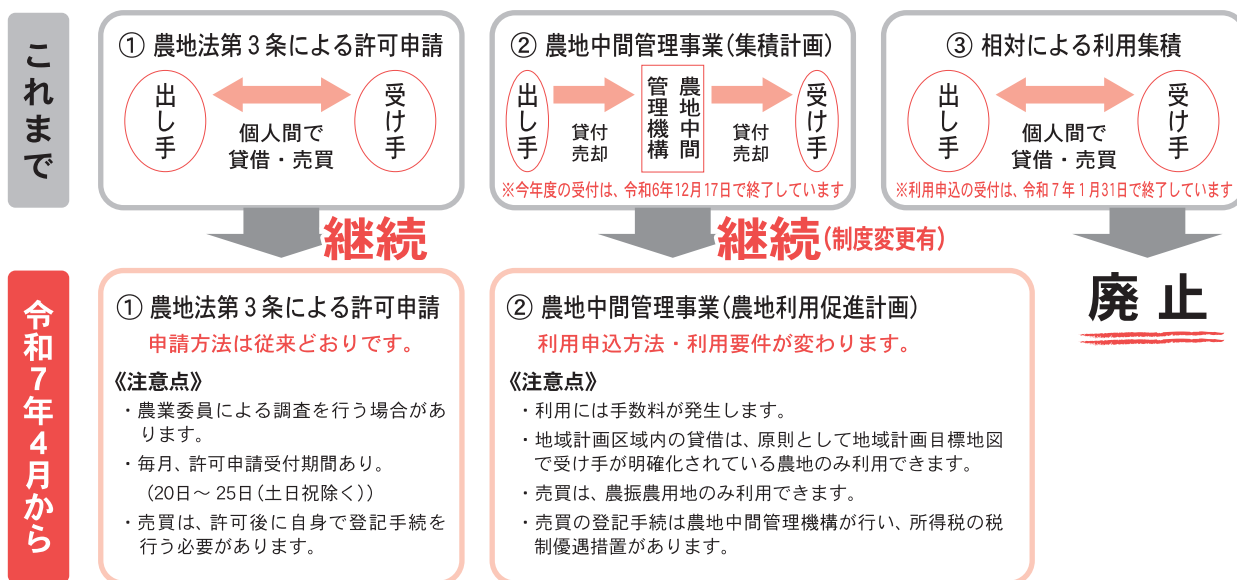
（農地利用最適化推進委員

木村 紀男）

令和7年4月から 農地の貸借・売買の手続方法が変わります

令和7年4月から新制度に移行するため、農地の貸借・売買の方法は、

①農地法に基づく許可を得る または ②農地中間管理事業を活用する のいずれかになります。従来の「農用地利用集積計画（個人間の利用集積）」は、利用できなくなります。



◎ 農地中間管理事業の申込受付開始時期・具体的な申込方法は、令和7年4月以降別途お知らせします。



令和6年度

食農交流事業の活動報告

『食農交流事業』は、農業委員及び農地利用最適化推進委員が、本来の活動場所である地域において「行動する農業委員会」として食農交流をテーマに、生産者と消費者の交流事業に取り組むことを通じて、互いの理解を深めるとともに、全市を対象にした「生産者と消費者の交流」の方向を探ることを目的として、ブロック毎に事業を実施しています。

10月12日(土) 第2ブロック(南山形、蔵王、本沢)……写真①

東北文教大学／東北文教大学 地域交流イベント協賛事業

◇模擬店(芋煮)、地元農産物の販売、新米の販売促進キャンペーン、アンケートの実施

10月19日(土) 第4ブロック(鈴川、楯山、高瀬、山寺)……写真②

県民ふれあい広場／やまがた美味しいカーニバルにて出店

◇地元農産物販売、焼き芋販売、アンケートの実施

10月20日(日) 第1ブロック(旧市、飯塚、樺沢、滝山、東沢、南沼原)……写真③

山形まるごと館 JAやまがたおいしさ直売所「紅の蔵」／「紅の蔵」と合同の秋まつり

◇山形市の旬の農産物(野菜・果樹・新米・花)販売、ビンゴゲーム(野菜・果物・新米等の贈呈)
アンケート実施

11月9日(土) 第3ブロック(大郷、明治、出羽、金井、千歳)……写真④

JAやまがた中央営農センター／天神支店・中央営農センター・グリーンやまがた中央店
「合同ふれあい祭り」協賛事業

◇軽トラ市(新鮮野菜の販売)・芋煮ふるまい・ポン菓子の提供

11月16日(土) 第2ブロック(大曾根、西山形、村木沢)……写真⑤

山形地区カントリーエレベーター、最上川中流小水力南館発電所(最上川中流土地改良区)、
高橋りんご園／親子で行く農業体験ツアー

◇りんご収穫体験と農業施設見学



フォト
コーナー



① 第2ブロック (南部)



② 第4ブロック



③ 第1ブロック



④ 第3ブロック

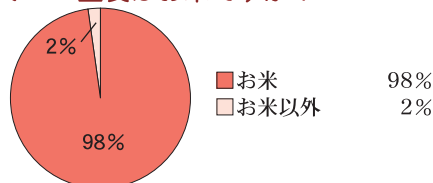


⑤ 第2ブロック (西部)

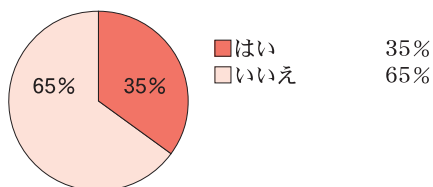
食農交流事業アンケート結果

第1ブロック・第4ブロック（回答者248人）

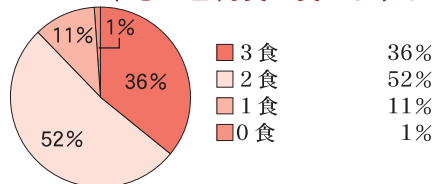
Q 1 主食はお米ですか？



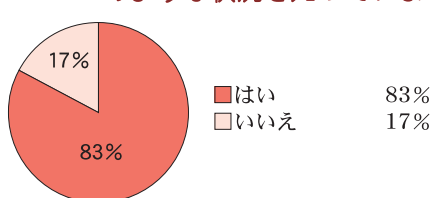
Q 4 ごはん茶碗一杯 39円程度です。この事を知っていますか？



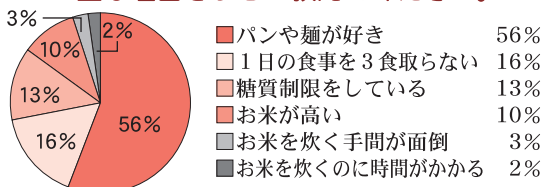
Q 2 お米を1日何食 食べますか？



Q 5 現在、異常気象による被害や肥料等の農業資材の高騰などによるコスト上昇によって経営が苦しく、農産物を作り続ける事が難しくなっている農家が少なくありません。加えて、農業従事者の高齢化や担い手不足もその要因のひとつになっています。このような状況を知っていますか？



Q 3 「1日3食」お米を食べない主な理由をひとつ教えてください。

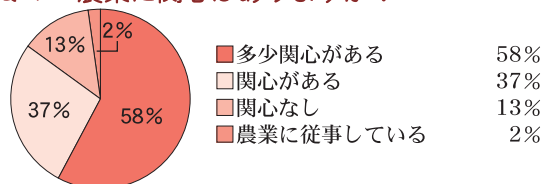


『令和の米騒動』を経て、多くの方々が「米」の大切さを改めて感じていたようだ。米を食べない理由のひとつに「パンや麺が好き」との回答の割合が多く、意外にも60代・70代以上の層で多いことに驚いた。さらに深掘りすると、「3食お米だとおかずが必要」「朝、時間がないので手軽なパンで」という意見が印象的であった。

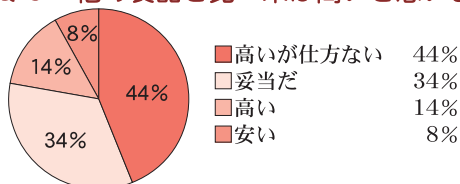
農業の大変さについては、多くの方々から理解されてはいたが、ご飯茶碗1杯の価格については未だ認知されていないようである。まだまだ周知が不十分と考える。米の購入単位が大きい事で高額に感じてしまう消費者が多いのかもしれない。今後も米の適正価格や栄養面など積極的なPR活動が必要であろう。

第2ブロック（南山形・蔵王・本沢）（回答者103人）

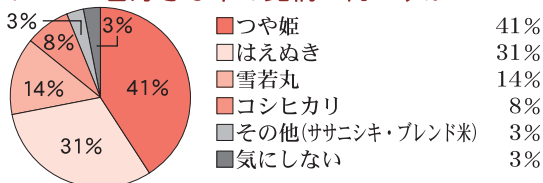
Q 1 農業に関心はありますか？



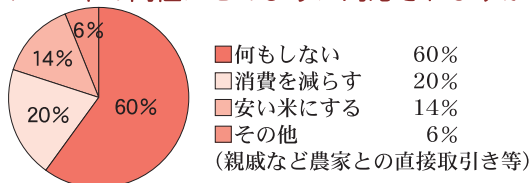
Q 3 他の食品と比べ米は高いと思いますか？



Q 2 一番好きな米の銘柄は何ですか？



Q 4 米の高値にどのように対応されますか？



米は、値上げがあったのだから、高いと感じるのは当然。逆に「安い」、「妥当だ」の合計が42%あったことは意外だった。米の高値時の対応として、「消費を減らす」は全体で20%にとどまったが、30歳以下で34%、31～40歳では14%と、若年層ほど高い傾向となった。米離れが懸念される。



山形県農業委員会大会

山形県農業委員会大会が、11月11日やまぎん県民ホールにて、県内各市町村の農業委員等約800人が参加して開催されました。また、前山形市農業委員会会長の大築義雅氏が農林水産大臣表彰を受賞されました。



(大築氏は令和6年度の大高根農場記念山形県農業賞も受賞されています)

主催者を代表して山形県農業会議の寒河江忠会長からは、「今年は、自然災害が多く発生した年であり、将来を見通して早期の目標地図の策定と農地利用の最適化の取り組みを強化しなければならぬ」と挨拶がありました。令和6年には、山形県農業会議が70周年の節目にあたり、東京大学の安達光義教授から「農業委員会系統組織が歩んだ70年と今後の展望」との演題で記念講演をいただきました。

大会宣言では、「地域計画の策定と実現に向けた取り組みの強化」「大規模自然災害等への対応」「農業委員会事務局体制の強化」「積極的な要請活動の実施」などを提示し、強化実現に向けて取り組むことが全会一致で承認されました。

(農業委員 長澤 弘)

農業者年金は少子高齢時代に強く安定した年金です！

自分が支払った保険料とその運用益を、将来受給する年金の原資として積み立てます

年金給付原資の額に応じて年金額が決まる「積立方式・確定拠出型」の年金です

◆農業者年金の加入資格

- ・年間60日以上農業に従事
- ・国民年金の第1号被保険者(保険料納付免除者を除く)
- ・20歳以上65歳未満(60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者)

※パンフレットをご用意しております。

◎お問い合わせ先：山形市農業委員会事務局(電話023-641-1212 内線773)

(独)農業者年金基金
ホームページ
「年金シミュレーター」
にて、あなたの
年金額を試算
できます!!



令和7年度 山形市農業委員会 許可等日程

許可月	3条・4条・5条等の受付期間	総会開催日
4月	3月21日(金)～25日(火)	4月14日(月)
5月	4月21日(月)～25日(金)	5月13日(火)
6月	5月20日(火)～23日(金)	6月13日(金)

※農地法3条(農地に係る権利移動)、4条・5条(農地の転用)等の許可を受けるためには、上記の受付期間中に申請し、翌月13日頃開催の総会で許可・不許可の決定となります。

※許可申請には確認事項、必要書類がありますので事前にご相談ください。

なお、相談の際は事前にお電話でご連絡くださるようお願いいたします。

問い合わせ先：山形市農業委員会事務局(電話023-641-1212 内線775・776・916)

農委広報やまがた
バックナンバーは
こちらから



編集

後記



正月の初夢は、一年の運勢を占う縁起の良いものである。
一富士、二鷹、三茄子ということわざにもあるように、富士山は大吉とされ、成功の象徴でもある。
世界遺産に登録される以前に、旅行で見た神々しいまでの富士山は、雲一つない秋晴れにその美しすぎる雄大な姿で、圧倒的な存在感を放っていた。地元の方に、年に一度あるかないかの絶好の観光日和とお墨付きをいただいた。それまで経験したことのない幸運に感謝し感動した。滞在の二日間、あの絶景に向かって、腱鞘炎になるくらい、シャッターを夢中で押しまくったことを覚えている。
今年こそ、富士山から太陽が昇る朝日の夢を見たいと思うが、最近、何かと話題になっているオーパーツリズムに悩む富士山だけは願ひ下げである。

(編集委員 森田 誠一)

